



令和6年1月27日（土）—28日（日） 第10回近現代部会を開催しました

第10回近現代部会では、資料調査の現状や、資料編に掲載する資料についての調査報告会を2日間にわたって行いました。

持ち時間1人30分で、現状と調査資料選定における課題や掲載がほぼ確定している核となる資料について資料をもとに報告し、その後質疑応答が行われました。報告は戦前の遠野市域の経済や自由民権運動など多岐の分野にわたり、調査研究員も交えて活発な質疑応答、意見交換や執筆担当の調整が行われました。また今回の報告を受けて浮かび上がった現状と課題をもとに、次回は編目構成案の最終調整などを行うこととしました。その他、部会に伴う調査では、市内学校および博物館所蔵資料の調査を行ったほか、28日に開催された第29回遠野郷神楽共演会を見学しました。



▲調査報告会の様子

近現代の資料編は令和7年度、通史編は令和9年度に刊行予定です。調査の過程で新たな事実も出てきており、刊行が楽しみです。



菅原 伴耕

すがわら はんこう

遠野市史編さん委員会 委員
遠野市史編さん近現代部会 調査研究員

Q1 出身地

遠野市宮守町上宮守

Q2 専門分野

上宮守の歴史について

Q3 市史に関して今もっとも興味を持っていること
先生方の調査内容を聞いて、身近な地域の歴史を知ることが楽しい。一方で、自分の生きてきた時代が、歴史として捉えられるようになってきた事は感慨深い。

Q4 その他

携わらせていただき「市史は、記憶にあっても記録になければ採用できない」ということを知った。

編さん委員紹介